

就学前児童  
(小学校入学前の児童)

# 村上市子ども・子育て 支援に関するニーズ調査票

市民の皆さまには、日ごろから次世代育成支援行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、子育て支援のための施策を実施しておりますが、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとなりました(平成27年度から実施予定)。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、住民の皆さんの「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を調査させていただくものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理されます。また、無記名でご回答いただくため、お答えいただいた方の個人情報が漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることは一切ございません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成25年10月

村上市長 大滝 平正

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

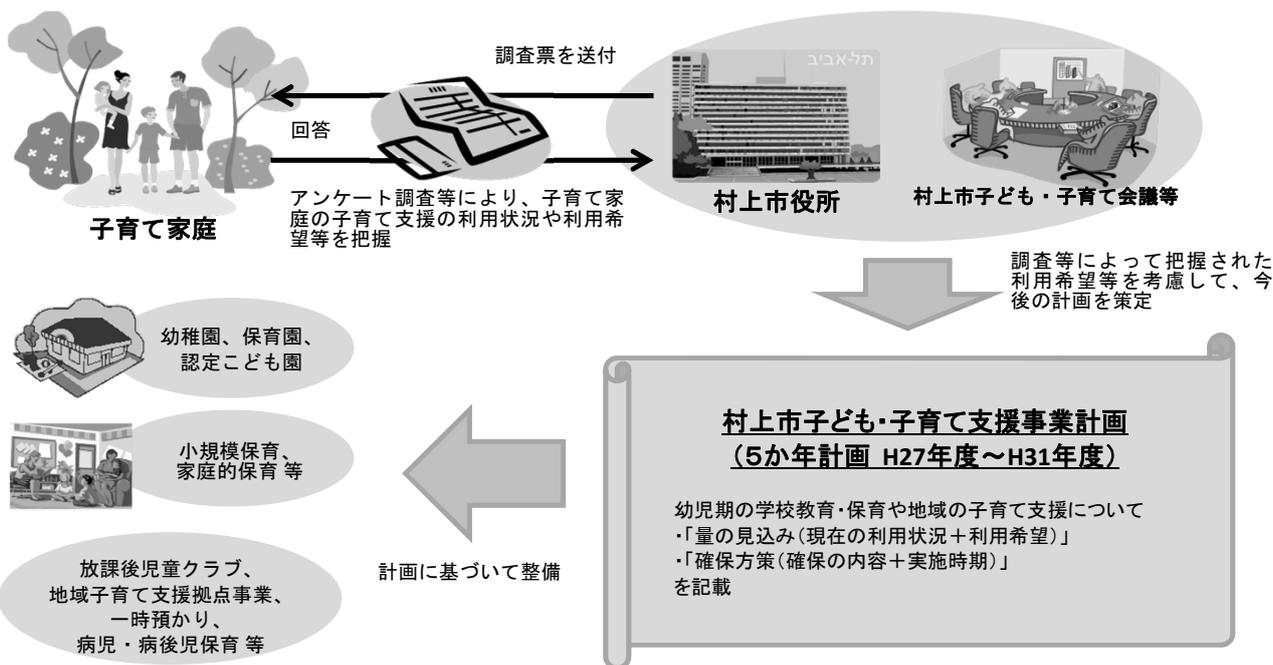
村上市 福祉課 子育て支援室

電話:0254-53-2111(内線243)

## [調査票のご記入にあたってのお願い]

1. 就学前児童や小学生で兄弟や姉妹のいる場合は、あて名のお子さんについてご記入ください。（就学前児童が複数の場合は、無作為抽出によりお一人を選んでいきます。）
2. 就学前児童と小学生の両方のお子さんがいる場合は、2種類の調査票をご記入いただくことになり、大変ご面倒をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。
3. アンケートにはお子さんの保護者の方がご記入ください。
4. ご回答は、選択肢に○印をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
5. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。
7. 年齢を記入する欄は、全て平成25年4月1日現在の満年齢をご記入ください。
8. ご記入いただきました調査票は、封筒に入れて11月8日(金)までに保育園または幼稚園の先生にお渡しください。なお、調査の実施につきましては、プライムテック株式会社に委託しており郵送にて配布された世帯の方は、返信用封筒をご投函ください。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問 1 お住まいの地区はどちらですか。あてはまるものひとつに〇をつけてください。

- |         |         |                                   |
|---------|---------|-----------------------------------|
| 1. 村上地区 | 2. 荒川地区 | 3. 神林地区                           |
| 4. 朝日地区 | 5. 山北地区 | 6. その他 (                      地区) |

問 2 あて名のお子さんの生年月を口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字。)

平成   年   月生まれ

問 3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。  
また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を口内に数字でご記入ください。  
(数字は一枠に一字。)

お子さんの人数  人                      末子の生年月 平成   年   月生まれ

問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。  
あて名のお子さんから見た関係でお答えください。あてはまるものひとつに〇をつけてください。

- |       |       |                                 |
|-------|-------|---------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 (                      ) |
|-------|-------|---------------------------------|

問 5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。  
あてはまるものに〇をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問 6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。  
続柄はあて名のお子さんから見た関係です。あてはまるものひとつに〇をつけてください。

- |          |                                 |         |
|----------|---------------------------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親                         | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他 (                      ) |         |

子どもの子育てをめぐる環境についてうかがいます。

問 7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で、あてはまるものすべてにQをつけてください。

- |          |        |           |            |
|----------|--------|-----------|------------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親  | 3. 父親     | 4. 祖父母     |
| 5. 幼稚園   | 6. 保育園 | 7. 認定こども園 | 8. その他 ( ) |

※ 認定こども園

幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設 (用語解説参照)

問 8 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)にもっとも影響すると思われる環境のあてはまるものすべてにQをつけてください。

- |            |       |        |        |           |
|------------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭      | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育園 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他 ( ) |       |        |        |           |

問 9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。あてはまるものすべてにQをつけてください。

- |                                    |     |            |
|------------------------------------|-----|------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              | } ⇒ | 次へ         |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |     |            |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          | } ⇒ | 問9-2 (P3)へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |     |            |
| 5. いずれもない                          | ⇒   | 問10 (P3)へ  |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に回答された方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、あてはまるものすべてにQをつけてください。

- |   |     |            |
|---|-----|------------|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | ) ⇒ | 問10 (P.3)へ |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である                           |     |            |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である                    |     |            |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい                      |     |            |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある                 |     |            |
| 6. その他 ( )  |     |            |

問9-2 **問9で「3.」または「4.」に回答された方にうかがいます。**友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ( )

問 10 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。あてはまるものに**○**をつけてください。

- |        |   |      |
|--------|---|------|
| 1. いる  | ⇒ | 次へ   |
| 2. いない | ⇒ | 問11へ |

問10-1 **問10で「1. いる」に回答された方にうかがいます。**お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できるのは、誰(どこ)ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- |               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族    | 2. 友人や知人                           |
| 3. 近所の人       | 4. 子育て支援施設 (地域子育て支援センター、児童館等) ・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士                             |
| 7. 幼稚園教諭      | 8. 民生委員・児童委員                       |
| 9. かかりつけの医師   | 10. 自治体の子育て関連担当窓口                  |
| 11. その他 ( )   |                                    |

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。


あて名のお子さんの両方の保護者の就労状況についてうかがいます。

※ 保護者が両親以外の方の場合は、記入の必要がありません。

問 12 あて名のお子さんの両方の保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてうかがいます。

(1) 母親 あてはまるものひとつに○をつけてください。

1.	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	}	⇒ (1)-1へ
2.	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
3.	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない		
4.	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが産休・育休・介護休業中である		
5.	以前は就労していたが、現在は就労していない	}	⇒ (2)へ
6.	これまでに就労したことがない		

(1) -1 (1)で「1.~4.」(就労している)に回答した方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
□内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字です。)

1週当たり	□	日	1日当たり	□	□	時間
-------	---	---	-------	---	---	----

(1) -2 (1)で「1.~4.」(就労している)に回答した方にうかがいます。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は24時間制でお答えください。(例)08時~18時  
□内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字です。)

家を出る時間	□	□	時	帰宅時間	□	□	時
--------	---	---	---	------	---	---	---

(2) 父親 あてはまるものひとつに○をつけてください。

1.	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない	}	⇒ (2)-1へ
2.	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である		
3.	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない		
4.	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが育休・介護休業中である		
5.	以前は就労していたが、現在は就労していない	}	⇒ 問14(P6)へ
6.	これまでに就労したことがない		

(2) -1 (2)で「1.～4.」(就労している)に回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間含む)」をお答えください。  
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
時間は24時間制でお答えください。(例)08時～18時  
□内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----

(2) -2 (2)で「1.～4.」(就労している)に回答した方にうかがいます。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。  
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
時間は24時間制でお答えください。(例)08時～18時  
□内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)

家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時
--------	----------------------	----------------------	---	------	----------------------	----------------------	---

問13 **問12の(1)または(2)で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に回答された方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。**

フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

(1) 母親

<p>1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある</p> <p>2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない</p> <p>3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望</p> <p>4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい</p>
--

(2) 父親

<p>1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある</p> <p>2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない</p> <p>3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望</p> <p>4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい</p>
--



あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。  
 具体的には、幼稚園や保育園など、問15-1に示した事業が含まれます。

問 15 あて名のお子さんのは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。

1. 利用している	⇒	次へ
2. 利用していない	⇒	問15-5 (P8)へ

問15-1 **問15-1～問15-4は問15で「1. 利用している」と回答された方にかがいます。**

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。  
 年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用：村上幼稚園)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育園 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの：市内の保育園)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設：村上いずみ幼稚園、村上こひつじ保育園)
5. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)	6. 事業内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設：村上はまなす病院託児所、新光会村上記念病院託児所「きらら」、老人保健施設「杏園」内施設)
7. その他の認可外の保育施設 (ゆりかご保育園、託児所マイマイなど)	8. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
9. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	10. その他 ( )

問15-2 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを口内に具体的な数字でご記入ください。  
 (数字は一枠に一字です。)時間は24時間制でご記入ください。例：09時～18時

(1) 現在

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/> 時間	(	<input type="text"/> 時～	<input type="text"/> 時)
-------	------------------------	-------	-------------------------	---	-------------------------	-------------------------

(2) 希望

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/> 時間	(	<input type="text"/> 時～	<input type="text"/> 時)
-------	------------------------	-------	-------------------------	---	-------------------------	-------------------------

問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 村上市内

2. 他の市町村

問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他( )

問15-5 問15で「2. 利用していない」と回答された方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(  歳くらいになったら預けようと考えている。)
9. その他( )

問 16 すべての方にかがいます。現在利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業についてお答えください。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。  
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用：村上幼稚園)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育園 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの：市内の保育園)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設：村上いずみ幼稚園、村上こひつじ保育園)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. その他の認可外の保育施設 (ゆりかご保育園、託児所マイマイなど)
9. 居宅訪問型保育 (保育者が子どもの家庭で保育する事業)	10. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
11. その他 ( )	

問16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 村上市内	2. 他の市町村
---------	----------



あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 17 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援事業を利用していますか。  
次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。  
また、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)

※ 地域子育て支援拠点事業

親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています。

1. 地域子育て支援事業(親子が集まって過ごしたり、相談する場)

1週あたり  回      もしくは 1ヶ月当り  回程度

2. その他当該自治体で実施している類似の事業(具体名: \_\_\_\_\_)

1週あたり  回      もしくは 1ヶ月当り  回程度

3. 利用していない

問 18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。  
あてはまるものひとつに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。  
(数字は一枠に一字です。)  
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい

1週あたり  回      もしくは 1ヶ月当り  回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週あたり更に  回      もしくは 1ヶ月当り 更に  回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに「はい」は「1」、「いいえ」は「2」のいずれかに○をつけてください。  
なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

サービスの種類	(1) 知っている		(2) これまでに 利用したことがある		(3) 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	1	2	1	2	1	2
②地域保健福祉センターの情報・相談事業	1	2	1	2	1	2
③家庭教育に関する学級・講座・講演会	1	2	1	2	1	2
④教育相談センター・教育相談室の情報・相談サービス	1	2	1	2	1	2
⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放	1	2	1	2	1	2
⑥子育ての総合相談窓口	1	2	1	2	1	2
⑦市が発行している子育て支援情報誌・チラシ等	1	2				

村上市ファミリー・サポート・センターの利用についてうかがいます。

問 20 村上市ファミリー・サポート・センターを知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 知っている      2. 知らない

※ ファミリー・サポート・センター

育児の援助を「受けたい人」「行いたい人」を会員として組織する有償ボランティアのネットワークです。在宅で子どもを預かることにより、共働きの方の仕事と家庭の両立や、子育てに専念している方のリフレッシュなど、地域の子育てを支援します。保育園等への子どもの送迎、保育園終了後の子どもの預かり等の活動を行います。村上市では、平成25年度より開始しました。

問20-1 どのような目的で利用したいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 主たる保育サービスとして利用する
2. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用する
3. 祖父母や近所の人・友人等から預かってもらえないときに利用する
4. 親の冠婚葬祭等や買物等の外出の際に利用する
5. 小学校・学童保育所等の送り迎えに利用する
6. その他の目的で利用する
7. 利用したくない、または、利用する必要がない

問20-2 利用したい場合は、希望の時間はどれくらいですか。口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字です。）

月に  時間くらい





**あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問 23 **平日の定期的な教育・保育を事業を利用している方(問15で「1. 利用している」と回答された方)にうかがいます。問15で利用していないと回答された方は問24へお進みください。**

この1年間にあて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. あった	→	次へ
2. なかった	→	問 24 (P15)へ

問23-1 **問23で「1. あった」と回答された方にうかがいます。この1年間の対処方法とそれぞれの日数はおおよそ何日ですか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数を口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。半日程度についても1日としてカウントしてください。)**

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ	<input type="text"/> 日	} → 次へ
イ. 母親が休んだ	<input type="text"/> 日	
ウ. 同居者を含む親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> 日	} → 問23-5 (P14)へ
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> 日	
オ. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/> 日	
カ. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 日	
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/> 日	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> 日	
ケ. その他( )	<input type="text"/> 日	

問23-2 **問23-1で「ア.」、「イ.」のいずれかに回答された方にうかがいます。その際に、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまるものひとつに○をつけ、日数を口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)**  
 なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にはかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	<input type="text"/> 日	→	次へ
2. 利用したいとは思わない	→	問23-4(P14)へ	

問23-3 問23-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答された方にうかがいます。

病児・病後児を預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 他の施設（幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ <input type="text"/> ）



問24(P15)へ

問23-2で「2. 利用したいと思わない」と回答された方にうかがいます。

問23-4 そう思われる理由についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ <input type="text"/> ）



問24(P15)へ

問23-1で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答された方にうかがいます。

問23-5 その際に、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たい」と思われましたか。あてはまるものに○をつけ、仕事を休んで看たかった日数を口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字です。）

1. できれば仕事を休んで子どもを看たい	<input type="text"/>	日
2. 休んで看ることは非常に難しい	<input type="text"/>	次へ



問24(P15)へ

問23-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」と回答された方にうかがいます。

問23-6 そう思われる理由についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（ <input type="text"/> ）

あて名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 24 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、**私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期**に利用している事業はありますか。ある場合はあてはまるもの**すべてに○**をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)を口内に数字で記入してください。(数字は一枠に一字です。)

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)	<input type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長し預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	<input type="text"/> 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	<input type="text"/> 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/> 日
5. ベビーシッター	<input type="text"/> 日
6. その他 ( )	<input type="text"/> 日
7. 利用していない	

問25(P16)へ

問24で「7. 利用していない」と回答された方にうかがいます。

問24-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他 ( )

問 25 あて名のお子さんについて、**私用、親の通院、不定期の就労等の目的**で年間何日くらい事業を利用する**必要がある**と思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号**すべてに○**をつけ、必要な日数の合計とそれぞれの目的別の内訳日数を口内へご記入ください。(数字は一枠に一字です。)  
 なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	<input type="text"/>	日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的		<input type="text"/>	日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等		<input type="text"/>	日
ウ. 不定期の就労		<input type="text"/>	日
エ. その他 ( )		<input type="text"/>	日
2. 利用する必要はない <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問26へ</span>			

問25で「1. 利用したい」と回答された方にうかがいます。

問25-1 問25の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業 (幼稚園・保育園等)
2. 小規模施設で子どもを保育する事業 (地域子育て支援拠点等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (ファミリー・サポート・センター等)
4. その他 ( )

問 26 この1年間に、**保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)**により、あて名のお子さんを**泊りがけ**で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含まれます) あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号・記号**すべてに○**をつけ、それぞれの日数も口内に記入してください。(数字は一枠に一字です。)

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. 同居者を含む親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/> 泊
	ウ. イ.以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	<input type="text"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊
	カ. その他 ( )	<input type="text"/> 泊
	2. なかった	

問26で「1. あった **ア. 同居者を含む親族・知人にみてもらった**」と回答された方にうかがいます。

「ア.」以外を選択した方は 問27へ

問26-1 親族・知人にみてもらった場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまるもの**ひとつに○**をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

※ あて名のお子さんが5歳未満の方は問31へお進みください。

問 27 あて名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)  
「学童保育所」の場合は、利用希望時間もご記入ください。時間は24時間制でご記入ください。例:09時~18時

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館 ※1	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 学童保育所 ※3	週	<input type="text"/>	日くらい → 下校時から <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週	<input type="text"/>	日くらい

※1 児童館で行う学童保育を利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習やスポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※3 「学童保育所」・・・地域によって[放課後児童クラブ]などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 28 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)  
学童保育所の場合は、利用希望時間もご記入ください。時間は24時間制でご記入ください。例:09時~18時  
※ だいぶ先のこととなりますが、現在のイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館 ※	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 学童保育所	週	<input type="text"/>	日くらい → 下校時から <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他(公民館、公園など)	週	<input type="text"/>	日くらい

※ 児童館で行う学童保育を利用を希望している場合は「6.」に回答

問 29 問27または問28で「6.学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。  
 (1)、(2)それぞれについてあてはまるものひとつに○をつけ、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)時間は24時間制でご記入ください。例:09時～18時

(1) 土曜日

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	} 利用したい時間帯をお答えください。 ( <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで )
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	} 利用したい時間帯をお答えください。 ( <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで )
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

問 30 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。  
 あてはまるものひとつに○をつけ、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。  
 (数字は一枠に一字です。)時間は24時間制でご記入ください。例:09時～18時

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	} 利用したい時間帯をお答えください。 ( <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで )
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	



すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 31 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまるものひとつに〇をつけて、該当する口内に数字をご記入ください。(数字は一枠に一字です。)また、育児休業を取得していない方はその理由をご記入ください。

母親	父親
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない
取得していない理由を下記から選び、ご記入ください。(いくつでも)	取得していない理由を下記から選び、ご記入ください。(いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに子どもを預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他( )

問31-1 子どもが原則1歳になるまで、育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間については健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。あてはまるものひとつに〇をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問31で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。  
該当しない方は問32へお進みください。

問31-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

(1)母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	
2. 現在も育児休業中である	問 31-9 (P22)へ
3. 育児休業中に離職した	問32(P23)へ

(2)父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	
2. 現在も育児休業中である	問 31-9 (P22)へ
3. 育児休業中に離職した	問32(P23)へ

→ 問31-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問31-3 育児休業から職場に復帰したのは、どのタイミングでしたか。あてはまるものに○をつけてください。

※このような場合は「1」を選択してください。

- ・年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃に復帰し、一時的に認可外保育園に入所した場合。
- ・年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかった場合。

(1)母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

(2)父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問31-4 育児休業から実際に職場に復帰したのはお子さんが何歳何ヶ月のときですか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でお答えください。(数字は一枠に一字です。)

(1)母親

実際の取得期間	□ 歳 □ 月	希望	□ 歳 □ 月
---------	---------	----	---------

(2)父親

実際の取得期間	□ 歳 □ 月	希望	□ 歳 □ 月
---------	---------	----	---------

問31-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でお答えください。(数字は一枠に一字です。)

(1)母親

□ 歳 □ 月
---------

(2)父親

□ 歳 □ 月
---------

**問31-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。**

問31-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※あてはまるものすべてに○をつけてください。

①母親

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育園に入るため         | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 ( )              |                         |

②父親

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育園に入るため         | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 ( )              |                         |

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※あてはまるものすべてに○をつけてください。

①母親

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育園に入れなかったため   | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため    | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |                           |
| 6. その他 ( )            |                           |

②父親

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育園に入れなかったため   | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため    | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |                           |
| 6. その他 ( )            |                           |

**問31-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。**

問31-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

①母親

- |  |
|--|
| 1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した                                    |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)             |

②父親

- |  |
|--|
| 1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した                                    |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)             |

**問31-7で「3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と 回答した方にうかがいます。**

問31-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

①母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ( )

②父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ( )

**問31-2で「2. 現在も育児休業中である」と 回答した方にうかがいます。**

問31-9 あて名のお子さんが1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても、1歳になる前に復帰しますか。あてはまるものに○をつけてください。

①母親

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

②父親

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|



## 《用語解説》

### ◎認定こども園とは？

幼稚園と保育園の機能を併せ持ち、就学前の子どもに幼児教育・保育を一体的に提供する機能と、地域に子育て支援を行う機能を持つ施設です。

(村上いずみ幼稚園・村上こひつじ保育園)

### ◎幼稚園とは？

満3歳～小学校就学までの幼児を教育し、心身の発達を助長するための教育施設です。

(村上幼稚園)

### ◎保育園とは？

保護者が就労等の理由で保育に欠ける乳児又は幼児を保育することを目的とした児童福祉施設です。(村上市立保育園【市内には現在20園】)

### ◎地域子育て支援センターとは？

地域の子育て家庭に対する育児支援を行うため、子育て広場、相談事業、育児講座等を行います。未就園のお子さんとお家の方が対象となります。各地区に一カ所子育て支援センターを設置しています。

### ◎児童館とは？

気軽に利用できる子どもたちの遊び場です。遊びを通じて、体の成長や心の安定を援助します。未就園のお子さんとお家の方が対象となります。また、土曜の午後に小学1年生から3年生を対象とした「なかよしクラブ」を行っています。(村上地区のみ。二之町、南町、岩船、瀬波の4児童館)

### ◎学童保育所とは？

放課後、保護者等が不在の小学生の健全育成と福祉の増進を図ります。平成25年4月から、小学6年生まで対象を拡大しました。各地区合計で12か所の学童保育所を開設しています。

### ◎放課後子ども教室とは？

学校、家庭、地域が連携をして、地域全体の子どもを育む活動です。放課後や週末、長期休暇などに、さまざまな体験活動を実施しています。(村上小学校、村上南小学校、瀬波小学校、保内小学校、金屋小学校)

### ◎ファミリー・サポート・センターとは？

市民が仕事と育児を両立させ、安心して働くことができる地域づくりを進めるため、「子育てを手伝ってほしい人(依頼会員)」と「子育てを手伝う人(提供会員)」が、それぞれ会員となり、地域で子育ての助け合いを有償で行う会員組織です。

#### 村上市ファミリー・サポート・センター(通称ファミサポ)

村上市ファミサポは、平成25年7月に開始しました。現在、依頼会員、提供会員を募集中です。すぐに利用できるように、事前の登録をお勧めします。

詳しくは、下記までお問い合わせください。(月～金 8:30～17:15)

0254-66-7297(神林子育て支援センター内)

または各子育て支援センター、福祉課子育て支援室(53-2111内線243)